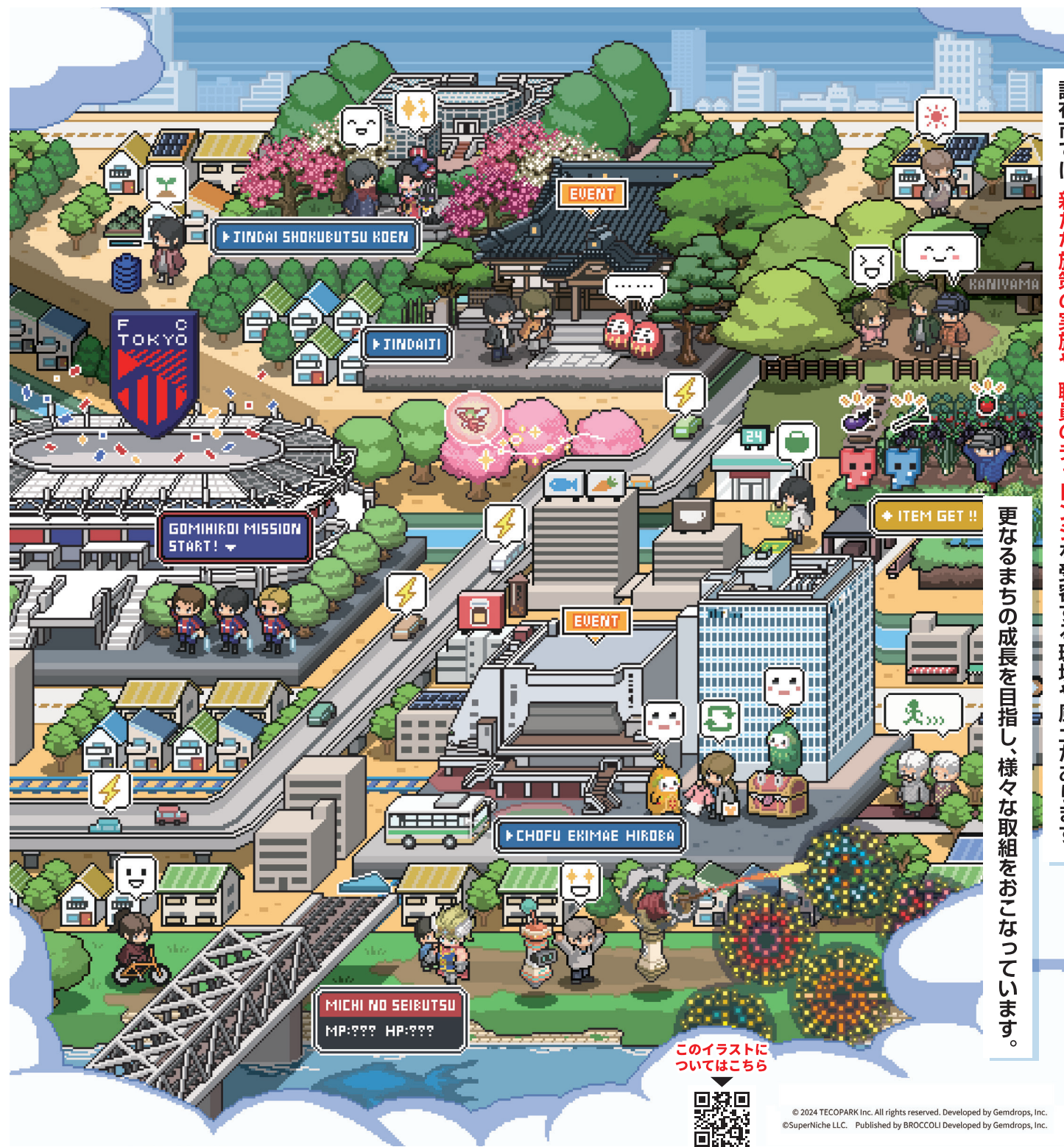




調布市では、新たな施策の実施や、職員のチャレンジを受容する環境や風土があります。

更なるまちの成長を目指し、様々な取組をおこなっています。

このイラストについてはこちら



© 2024 TECOPARK Inc. All rights reserved. Developed by Gemdrops, Inc.
© SuperNiche LLC. Published by BROCCOLI Developed by Gemdrops, Inc.

職員とともに成長するまち調布

調布市立小学校児童への 早朝見守り事業「みまモーニング」

市では、朝の保育園の開始時刻と小学校の登校時刻が異なるなどによる、「朝の小1の壁」の解消に向けて、学校始業前まで、見守り員(市が業務委託)が児童の見守りを行っています。



中学生海外体験学習事業

次代を担う調布市の中学生が、外国の文化、生活等を直接体験することで、多文化共生への理解を深めるとともに、国際的な視野やコミュニケーション能力を得て、国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材へと成長する契機とすることを目的として実施しています。令和7年度は、8/16～8/24に市立中学の2年生20人がオーストラリア・パースを訪れました。



こんな人と働きたい!!

聴き、考え、伝えることができる人

コミュニケーションをとることが好きな人

私たちの仕事は、市民の方にサービスを直接提供することがメインとなるため、人に説明する能力が大切です。また、職員だけでなく、市民や関係者の方と連携しながら業務を進めていくため、自ら積極的にコミュニケーションをとれる人材を求めています。



自ら率先して周囲の人と協力し問題を解決する人

様々な課題を解決するためには、職員だけでなく市民や関係者等の様々な人達と連携しながら仕事を進めることが重要となるため、自ら率先して周囲の人と協力し、問題を解決する人を求めています。



柔軟に考え、自律的に行動できる人

誰もがいきいきと生活できるまちづくりを進めていくためには、様々な人の意見を受けて、柔軟に事業を進めていく必要があります。また、社会環境が変わる中で、事業を効果的・効率的に実施するために、新たな手法や手段を考え、実行できる人材を求めています。



時代や社会情勢の変化を敏感にとらえることができる人

市民のニーズを的確にとらえるだけでなく、時代や社会情勢の変化を敏感にとらえることができる人を求めています。

柔軟な発想で考え、実施に向けて具体的な提案をすることができる人

「前例踏襲」ではなく新たな方法や手法等に挑戦し、効果的・効率的に業務を進める視点を持った人を求めています。

市長あいさつ CHOFU

皆さんが就職先に求めることは何でしょうか。生活をするために必要な賃金を得ること、自分の夢を実現すること、人の役に立つ活動をする事、それぞれに思いは異なることでしょう。ただし、同じ時間を費やすのであれば、仕事に楽しみを見出せる、そんな職場で働けたら人生が豊かになると思いませんか。

昨年(令和7年)、調布市は市制施行70周年を迎えました。この節目を盛大にお祝いするため、記念イベントの開催やTV番組「出沒! アド街ック天国」の公開収録、「地球の歩き方 調布市」の発行など、民間企業とも連携しながら、市の魅力を市内外に広く発信することができました。

また、市内の京王アリーナTOKYOが、日本国内で初開催となるデフリンピックの競技会場となりました。ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック、東京2025デフリンピックと3つの世界規模のスポーツ大会すべてが市内で開催された自治体は、全国1741ある基礎自治体の中で、わが調布市のみです。市はこれらの国際大会を契機としたスポーツ振興や共生社会の充実を図り、魅力溢れるまちづくりを進めています。そして本年(令和8年)、長年取り組んできた調布駅前広場が3月末にはいよいよ完成し、調布のまちは新たなステージへと進みます。

高い財政力を有し、一層魅力的なまちへと成長を続ける調布市の今後のまちづくりに皆さんにもぜひ加わっていただき、公私ともに充実した社会生活を送ってほしいと思っています。仕事のやりがいの大きさでは、絶対に他の自治体に負けません。

未来に夢を持ち情熱ある皆さんのチャレンジを心からお待ちしております。



調布市長
長友 貴樹